## 平成26年度の基本方針(事業計画)と自己点検・自己評価と外部評価について

重点目標	関連する 評価指標		平成26年度	平成26年度	達成率	自己点検·自己評価	外 部 評 価
	基本的運営方針	評価項目	目標値	実 績 値 <sup>達</sup> ····································	连风平	成李 · 自己無快·自己計順	)l, □b tL lm
1 県民のニーズに対応したサービスの提供 県民が図書館の資源を有効に活用し、知識や情報を得る ためのレファレンス・サービスを充実させ周知する。		(1)	915,452 人	905,801 人	98.9%	・入館者数、貸出数、調査相談件数等について漸減傾向は見られるが、全 般的に開館前の想定を大幅に上回る水準での利用が続いており、ほぼ目標水準を達成している。 ・想定以上の利用への対応で、窓口業務対応への比重が大きくなっているが、レファレンスサービスの質的向上に不可欠な各種のレファレンスツールの作成を進めることができた。	などの実績値は高水準を維持しており、多くの県民から親しまれる図書館となっている。一方、図書館が主催する研修事業の参加者や職員を講師として派遣した実績数などが減少しており、県内の中核的図書館として何を重視して取り組むのか、さらなる検討が必要である。 ・・レファレンスサービスの利用やレファレンスツールの作成はほぼ目標水準を達成しており、アンケートによると利用者の満足度も高い。今後は、より専門的な対応が可能な職員の養成などにも取り組み、多くの問い合わせに質の高いサービスを提供することを期待する。
		(2)	10,000 人	12,308 人	123.1%		
		(3)	458,664 点	432,881 点	94.4%		
課題別、対象別サービスの検討を進め、併せて専門分野 に対する職員の対応能力向上を図る。 窓口業務の効率化や要員の適正配置を進める。		(4)	5,000 点	4,819 点	96.4%		
		(9)	282,775	288,234 アクセス	101.9%		
		(10)	275 件	260 件	94.5%	・繁忙時の臨時的職員の配置などによって、年間を通じて発美したサービス」が提供できるように努め、窓口サービスの水準を維持したが、研修会や視察・見学等の参加者は減少しており、企画内容や運営方法について検討が一必要である。 ・新図書館の運営状況を評価する評価事業を開始し、運営改善に努めている。	
サービスの現状について分析と評価を行う。		(13)	44,767 件	44,150 件	98.6%		ド ・限られた人員と予算の中で、多くの来館者に対してサービス提供を行い一定 の成果を上げている。 適正な人員や財源の確保に努めるとともに、職員の配
		(14)	94 件	91 件	96.8%		
		(15)	836 件	715 件	85.5%		
		(16)	33 人	27 人	81.8%		
		(17)	1,252 人	1,060 人	84.7%		
		(18)	3,069 冊	2,902 冊	94.6%	4	
		(21)	12,459 人	8,393 人	67.4%	4	
		(22)	2,759 人	3,118 人	113.0%	4	
		(24)	2,628 アクセス	4,707 アクセス	179.1%		
生涯学習環境の充実、整備							
図書館資料の充実、整備のため、図書館全体の蔵書構成、利用状況等を考慮しながら年度ごとの重点目標を立て、資料収集を行う。 新資料の整理に対応した諸規程やマニュアル類の整備を行い、効率的な資料整理を行う。 デジタルアーカイブ事業の長期的な計画を立案、要領等の整備を行い、事業の推進を図る。		(3)	458,664 点	432,881 点	94.4%	・前年同様の予算を確保し、ほぼ目標通りの収集実績を達成した。重点的 な収集資料である地域資料については積極的に受入を進め、前年度を上	
		(4)	5,000 点	4,819 点	96.4%	回る冊数の受入を実現した。	
		(5)	851,617 点	860,243 点	101.0%		
		(8)	1,054 冊	1,098 冊	104.2%	し、利用者に提供することができた。	保に努めると同時に個人や地域の諸団体への寄贈の働きかけなどにも取 んでほしい。
		(9)	282,775 アクセス	288,234 アクセス	101.9%	┃ ┃・山梨を知るポータルサイトとして「発見!やまなしナビ」のアクセス件数は大	
		(10)	275 件	260 件	94.5%		
地域デジタル資料等を視聴するための機能を利用者パソコンに導入し、利用拡大を図る。		(15)	836 件	715 件	85.5%		
		(18)	3,069 冊	2,902 冊	94.6%		
		(23)	78,355 冊	78,397 冊	100.1%	はコンテングに更新してい、必要がある。	
		(24)	2,628 アクセス	4,707 アクセス	179.1%	4	
		(25)	4,200 枚	5,056 枚	120.4%	4	
3 多様な学習環境の提供と読書活動を推進する交流事 業等の展開		(1)	458,664 点	432,881 点	94.4%	一大き、減少した。入館者数や交流エリアの利用者数は同水準あるいは増加 の しており、外部との連携等により多くの利用者が参加できる事業の企画を検 書館 討する必要がある。 ・図書館協力会は、前年度を上回る活動回数で多彩な活動を展開し、事業 夫、	の参加者も大きく伸びている。県民の活動を支え、誰もが気軽に利用できる 書館としての役割を果たしていると評価できる。ただし、図書館企画事業への 参加者が減少しており、これは読書推進の事業への参加が少ないとも考えられ改善が必要である。図書館ならではの企画や外部の団体などとの連携の
		(4)	5,000 点	4,819 点	96.4%		
多様な学習環境提供のため、多彩で魅力あるイベントや講座等を開催する。		(5)	851,617 点	860,243 点	101.0%		
		(6)	1,582 回	1,750 回	110.6%		
関係機関、関係団体等と連携し、「やまなし読書活動促進事 業」を実施する。		(7)	12,459 人	8,393 人	67.4%		・図書館協力員が精力的に活動し、図書館運営に多大な貢献を果たしているとを大いに評価する。図書館が多彩な事業を展開し役割を果たすには、外部の人たちの協力が欠かせない。さらに会員がやりがいを持って参加できる仕
県内一円に広がる新たなサービスの検討を行う。		(10)	275 件	260 件	94.5%	・相互貸借数は、平成25年度実績から大幅に減少していることから う図書館として県内図書館のニーズを確認し、図書館間協力の環境 めてほしい。 ・職場体験、・インターンシップの受け入れが目標より少なかったの	
		(11)	1,335 人	908 人	68.0%		
		(12)	14 日	12 日	85.7%		•
		(16)	33 人	27 人	81.8%		う図書館として県内図書館のニーズを確認し、図書館間協力の環境整備を
		(17)	1,252 人	1,060 人	84.7%		めてはしい。 
		(19)	98,907 人	115,198 人	116.5%		・職場体験、・インターンシップの受け入れが目標より少なかったのは残念る。 キャリア教育が教育の重点課題に挙げられており、 積極的な取り組み
		(20)	63 %	64 %	100.3%	4	で、コドック教育が教育の生活研修に手げられてのが、復歴的な取り組みした。
		(21)	12,459 人	8,393 人	67.4%	4	
	I	(22)	2,759 人	3,118 人	113.0%		